

防草ラバーコート工法 施工マニュアル

株式会社白崎コーポレーション

①雑草除去

設置の障害にならないよう、雑草を取り除く。



⑥配置

移植ゴテを用いて支柱周りに配置し、形を整える。



②路面清掃

ブラシで貼りつけ対象となる部分にこびりついた土・埃などを除去する。



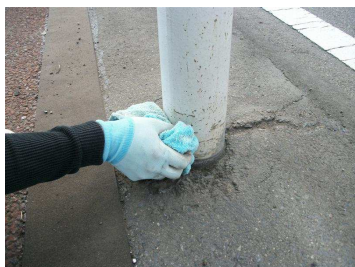
⑦成型

配置して10分程度後に、支柱周りに隙間が出来ないように、形を整える。※2



③支柱清掃

タオルで支柱の汚れをふき取る。



⑧成型完了



④マーキング

チョークを用いて製品設置範囲に印を付ける。



⑨周辺清掃

周辺のチップをホウキ等ではき取る。



⑤攪拌

ラバーチップとラバーボンドを、均一になるまで攪拌する。
※1



⑩完了



※1 支柱1箇所当たりの材料使用量

支柱径(φ)	ラバーチップ(L)	ラバーボンド(L)
60.9	0.5	0.1
114	0.8	0.16
140	1	0.2

(体積比 チップ:ボンド=5:1)

【1回当たりの目安生成量】

ポリバケツ(10L)で生成する場合は、1回当たりの生成量はチップ上限4Lまでが目安です。それ以上になりますと、混ぜにくく十分にボンドと混ざらない可能性があります。生成後は硬化が進んでいくため早めに敷設してください。(硬化後の敷設は防草効果が十分に発揮できなくなります)

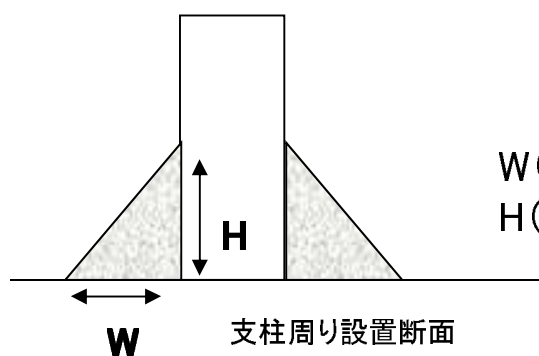
※2 支柱及びアスファルトに接する部分に隙間が出来ないように成型する。雨天時の施工は不可。
施工当日は降雨の無い条件で施工すること。

施工道具: バケツ、移植ゴテ、コテ、計量カップ、ゴム手袋、ブラシ、チョーク、タオル、ホウキ、鎌など

撤去の際は、粉碎し、構造物にこびりついた部分はカッター等で削ぎ取ること。

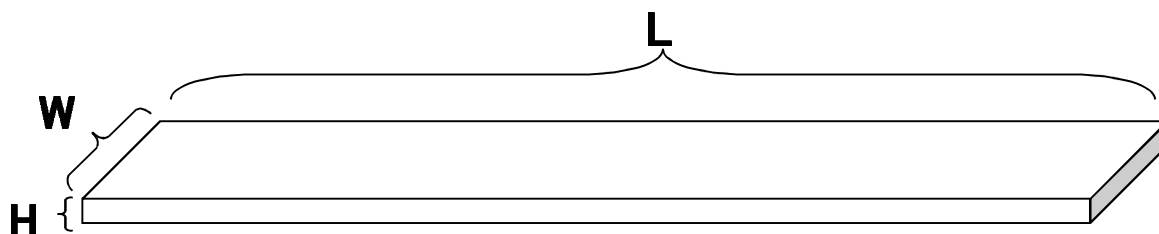
防草ラバーコート標準設置基準

・支柱処理の場合



W(設置幅): 支柱際より5cm以上
H(設置高さ): 支柱底面部より5cm以上

・平面部施工の場合(構造物際の連続処理)



L(設置延長): 設計時の長さによる
W(設置幅): 設計時の幅による
H(設置高さ): 2cm以上